声明　総選挙で与党過半数割れ、改憲派3分の２割れに追い込んだ力で、

新しい政治を探求し、憲法破壊を許さず、公布78年の日本国憲法を守りいかそう!

石破氏は首相就任わずか8日後に「ご祝儀相場」を当て込んで解散・総選挙を実施しました。最大の争点は、派閥の裏金問題・「政治とカネ」問題でした。選挙終盤の23日、「非公認候補が代表を務める政党支部に自民党本部から2000万円支出」と、しんぶん赤旗が報じました。自民党は「政党支部向けであり、非公認候補に出したものではない」と、法的に問題なしと強調しましたが、国民の怒りは急増し、それ以降、選挙情情勢が大きく変化し、自民党にとどめを刺す結果となりました。

結果、与党計215議席、野党計250議席を獲得し、与党過半数割れとなり、しかも自民党は、比例代表得票数では前回から533万票を減らし、過去最低の得票となりました。「theEND自民党政治」を呼びかけてきた私たちは、この結果を歓迎するものです。

石破政権は、国民民主との部分連合を模索しつつ、少数与党による政権運営に乗り出しました。しかし、裏金問題に対する国民批判を無視することは許されません。裏金問題の根本にある企業団体献金の禁止を実現することは急務です。そして、国民が求める選択的夫婦別姓、保険証の存続、福祉と教育など国民生活を重視した憲法がいきる政治に向け、たたかえば実現できる絶好のチャンスです。憲法会議は実現をめざして全力をあげものです。

今回の総選挙結果であわせて重要なのは、衆院での改憲派政党＝自民党、公明党、日本維新の会、国民民主党、参政党、日本保守党の獲得議席は合計287で、無所属の改憲派議員を含めても、改憲発議に必要な議員数の3分の2（310議席）を下回り、一方で日本共産党と立憲民主党、れいわ新選組、社民党を合わせた議席は166で、議席数465の3分の1を上回ったことです。国民が改憲派を「3分の2」以下に追い込み、改憲反対派を「3分の1」以上に押し上げたのです。

これは2009年8月30日に、民主が308議席を獲得し、政権交代し連立政権が発足した時以来の快挙です。現在、参院では改憲派政党の議席が議員数（248）の 3 分の 2 を上回っていますが、現状での改憲発議は不可能となりました。

しかし、石破首相は開票直後の10月28日の記者会見で、来年の自民党結党 70 周年を控え、「党是である憲法改正を前に進める」と強弁しました。しかも、自民党は国会閉会中に「憲法改正実現本部」で議論を重ね、緊急事態条項創設とともに憲法への自衛隊の明記に取り組むことを掲げています。

皆さん、日本国憲法は11月3日、公布から78年を迎えました。いまこそ、改憲反対の共同を強め、改憲策動を許さず、憲法が生きる政治と社会を実現しようではありませんか。

憲法会議は、2025年3月6日に結成60年を迎えます。公布から78年、幾多の改憲攻撃から憲法を守りぬいて来た広範な国民とともに力を合わせ、さらに改憲反対の共同を強め、引き続き憲法を守りいかすために全力でたたかう決意です。

皆さん、ともに頑張りましょう。

2024年11月8日　憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

〒101-0051千代田区神田神保町2-3２金子ビル103

℡03-3261-9007　fax03-3261-5453　ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ:mail@kenpoukaigi.gr.jp